

幼児期からの長期ステロイド使用後に留学へ出発した青年期アトピーの経過 (17 歳 女性)

症例 ID：001-17-TMo | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

1 歳頃から皮膚症状があり、小学校入学頃にはアトピーと診断されました。小学校 6 年頃には足趾や頭皮まで症状が広がり、足に包帯を巻く生活が続きました。長年ステロイドを使用した後、松本医院で治療を開始されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼児期から小学校期にかけてステロイド外用薬を長期使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	小学校入学前後から松本医院受診時まで長期に使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼児期～学童期	長期経過	皮膚症状が広がり、ステロイド外用を続けました。
小学 6 年頃	症状拡大	足趾、爪、頭皮に症状が広がり、足へ包帯を使用しました。
治療開始	初期変化	一時的に赤みが引き、皮膚が滑らかになりました。
開始 8～9 か月	ピーク	強いかゆみ、ただれ、不眠が続き、学校を休むことも考える状態となりました。
その後 2～3 か月	改善傾向	赤みが徐々に軽減しました。
治療 2 年半	経過後	検査値と皮膚状態が変化し、海外留学へ出発しました。

4. ピーク時期

ピークは治療開始 8～9 か月後、強いかゆみとただれで夜間に眠れず、学校生活への影響が懸念された時期です。

5. 困りごと

- 足部の包帯や頭皮の落屑があり、人目が気になりました。
- 強いかゆみと不眠により学校を休むことも考えました。

6. 経過のまとめ

治療 2 年半を経て皮膚状態は改善し、海外留学へ出発できる程度に落ち着きました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。